省エネ法の適用で工場の目標達成計画の施策の一つとして油焚き蒸気ボイラーか ら業務用エコキュートへの転換を提案

1. 既存設備の概要

【既存設備の概要】

とお客様の要望

乳児用粉ミルクの製造工場

油焚き蒸気ボイラー 1台(150,000kcal/h)、循環用ポンプ 1台、

ストレージタンク 1,5000 1基

【お客様の要望】

H22年の改正省エネ法の施行により、省エネの中長期計画を立案しなければ ならない。その一環として従業員の手洗い、シャワー設備のために使用している ボイラーに替わる最良の設備を模索している。

2. 提案した解決策

【提案した解決策】

- ①業務用エコキュートを使用する(年間 CO,排出量の大幅削減)
- ②既設のボイラーは補助用として残し、ハイブリッド給湯とする
- ③エコキュートの室外機は機械室に設置し、排熱(冷気)による冷房に利用する ことで、下記の機器を提案した。

業務用エコキュート QAHV-N560A 1台

SUS 耐熱タンク 2.0m³

3. 得られた成果と【成果】

お客様の評価

①CO₂削減量(昨年比) 17,754 kgCO₂/年

昨年(改修前) 25,148kgCO₂/年

今年(改修後) 7,394kgCO₂/年

②エコキュート導入メリット ¥355,000.-/年

大幅な省エネを実現した。また、ランニングコストも大幅に低減できた。

【お客様の評価】

省エネはもとより、油を使用しない分温暖化防止に役立った。室外機を機械室内 に設置して冷風を利用し機械室の冷房に役立った。

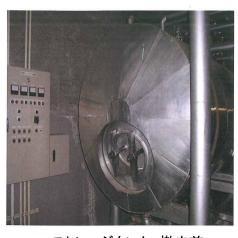
4. 今後の課題と

【今後の展開】

展開

油焚き蒸気ボイラーを設置している工場は多いので、本事例を参考にして営業し ていく。

某 株式会社 柏原工場 給湯設備改修工事 納入事例



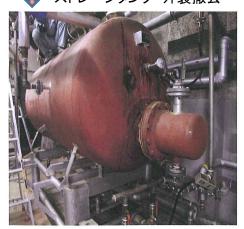
ストレージタンク 撤去前



ストレージタンク 外装撤去



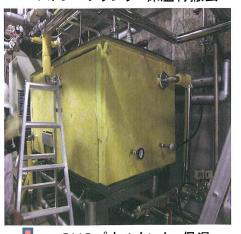
ストレージタンク 撤去



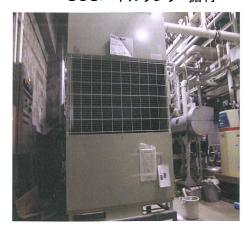
ストレージタンク 保温材撤去



SUSパネルタンク 据付



SUSパネルタンク 保温



業務用エコキュート 据付



SUSパネルタンク 外装